
魚物語

朱雀桃子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魚物語

【Nコード】

N4963H

【作者名】

朱雀桃子

【あらすじ】

ピュアな愛とは、どういうものなのでしょうか？

魚の佐吉は恋をしていた。

その相手は、人間の佳代ちゃんだ。

佳代ちゃんは毎日佐吉がいる沼へ遊びに来ていた。

佳代ちゃんはいつもパン粉を持ってきて、佐吉に投げてくれた。

佐吉がそれを食べると、佳代ちゃんは

【わぁ、お魚さんが食べたー！食べたー！】
と喜んでくれる。

佐吉はそれが嬉しかった。正直佐吉はまったくパン粉が好きではないのだが。

佐吉はどうすれば、佳代ちゃんに自分の気持ちを伝えられるだろうと、必死に考えた。

その結論がこうであった。

佳代ちゃんがいつも立っている場所に、佐吉がこの前たまたま泳いでいて見つけた宝石を置いておく。子供向けの安っぽい宝石だったが、佐吉はそれを自分の家に隠して、大事にしていたのだ。

そして宝石を見た佳代ちゃんは、佐吉の予想では

【わぁー！綺麗な宝石だー！ありがとう、お魚さん！大好きだよ！】
となる。そして、その後に友達の魚たち数十匹で、佳代ちゃんのために魚のダンスを踊るのだ。きっと、そうすれば、佳代ちゃんは喜んでくれるはずだ。

そして、とうとう作戦を実行する日が来た。

佐吉はさっそく佳代ちゃんが来るであろう場所に大事にしてきた宝石を置いた。

そして、友達の魚たちにも計画を伝え、今か今かと待機していた。

そうしていると、佳代ちゃんがやってきた。
いつものように、右手にはパン粉を持っている。
そうしていると、佳代ちゃんは宝石に気がついた。

【まあ、綺麗な宝石〜！これ誰かの落とし物かなあ？】

その瞬間、ここぞとばかりに、佐吉は今までした事もないような、
カッコイイクネクネ泳ぎをした。それを見た佳代ちゃんは

【もしかして、お魚さんが佳代にこれをくれたの？まあ、嬉しい！
ありがとうね！お魚さん、大好き！】

そして佐吉は合図を送り、一斉に友達の魚たちが出てきて、佳代ち
ゃんのために魚のダンスを披露した。佳代ちゃんは

【わー、お魚さんがいっぱい！！すごい！】

と言って、喜んでくれていた。佐吉はとても満足だった。

すると佳代ちゃんが

【じゃ、私の友達も紹介するね〜！】

と言い、来た道を急ぎ足で戻っていった。

【大成功だな！佐吉！】

【いい子みたいだな！佐吉、ナイスアイデアだぜ！】
などと、友達の魚達もみな満足気だった。

佐吉は友達の魚みんなに

【ありがとうな！助かったよ！】

と言い、みな功績を誉めあっていた。

そうしていると、そこに佳代ちゃんがやってきた。

後ろには佳代ちゃんの友達らしき、釣具を持った数十人の子供たち
がいた。

【すげー！この沼にこんなに魚がいたんだ！】

【すごいな！数十匹はいるな！これは釣れるぞー！】

【早く釣べ! 釣べ!】

沼はいつもより、悲しそうに見えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4963h/>

魚物語

2010年10月11日21時22分発行